



フェアライトのDREAM-Digital Recording, Editing And Mixing - は、あらゆるフィルム、ビデオ、マルチメディアに対応した、新しい時代の始まりを告げるモジュラーシステムのデジタルプロダクション/ポストプロダクションシステムの究極の製品です。フェアライトのこれまでのオーディオプラットフォームとデータ互換性があり、QDCテクノロジーエンジンをコアとして装備したDREAM製品は、より高いパフォーマンスと、より優れたシステム統合性と経済性を持っています。

DREAM製品には単体のエディティングワークステーションであるDREAM Satelliteと、エディター/ミキサーを統合してオプションのフェーダーモジュールで拡張することのできるDREAM Station、さらに大型ミキシングコンソール仕様でコストパフォーマンスに優れたDREAM Consoleの3機種があります。全てのDREAMシステムは24ビット/96kHz、マルチチャンネル/マルチフォーマット対応となっており、ビジネスの拡大に従って拡張していくことのできるオープンアーキテクチャフレームワークが基本となっており、大きなプロジェクトからプライベートジョブまで幅広く対応しています。

並外れた柔軟性を持ち、確立されたプラットフォームであるフェアライトからのシームレスなアップグレードを可能とするDREAMは、デジタルオーディオプロダクション/ポストプロダクションの未来に新たなページを築き上げます。しかもDREAM製品はメディア業界をもターゲットに設計されていますので、他のポストプロダクションシステムよりも経済的で、その柔軟性と拡張性により、あらゆるタイプのオーディオポストスタジオにもマッチします。

## Binnacle™ Editing

フェアライトの新しい操作パネルであるビナクル(船の羅針盤の覆いに因んだ名前)は斬新なエディットの操作性を持ち、全てのDREAM製品のコアとなっています。ビナクルエディティングは初めてDAWを操作する人も簡単に慣れ親しむことのできる簡潔性と使い易さを残しながら、操作性を飛躍的に向上させました。これまでのMFXのオペレーターであれば、わずかに数分でビナクルエディティングシステムに移行することができでしょう。ビナクルは全てのエディットとトランスポート機能をジョーホイールの指の届く範囲に集中させているので、オペレーターは1つか2つのアクションでエディット機能を選択することが可能になっています。片手でエディットは既存のMFXを基本に、簡素なエディット処理に則した構造になっており、この新しいアプローチを習得することは非常に容易です。また、両手でのエディットにもすぐ馴染むことができ、主なエディット操作の効率は飛躍的に高まります。

トランスポートとレンジ、プレイ/ジョグ、ジャンプ、フロム/トゥ、コピー、カット、イレース、トリム/スリッパ、フェードには専用のキーがあり、またBLUEファンクションキー操作のワンタッチショートカットも用意されています。専用のマクロキーボードはエディットコントロールの隣にあり、27のボタンがあります。

ビナクルでは、エディット機能は専用のファンクションキーを利用することができます。ビナクルはMFXシリーズのコンソールから培われたフェアライトワークステーションの歴史の中で、ユーザーの経験を自然な形で進化させたもので、レンジズーム、ジャンプ、ジョグといったコマンドがあります。また、新しい機能も設定しています。Track to Track Razorモード、Multi-layer Cut and Paste with Sync Point、Insert Space、Split Clip/Layer、Fill and Backward/Forward Fill等の新しいエディット操作は、簡単なキーストロークで使えるようになっていきます。キーの配列を指が覚え込んでしまうことで、楽器のようにキー操作を“プレイ”し、両手を使って驚くべき速さのエディット操作を可能にします。さらにビナクルコントローラーは、現在選択されているオペレーティングモードを分かりやすく示すカスタムメイドの3色のLEDを使ったキースイッチを装備しています。カスタムキーはフェアライトが独自に開発したスイッチで、スムーズかつ正確な操作性を生み出します。

## Powered by QDC Technology

DREAMはスピードとクオリティ、パワーに定評のある、フェアライトのパワフルなQDCテクノロジープラットフォームエンジンを使用しています。QDCにより強化された機能性、結合性、プロセッシングパワーを持ち、デジタルオーディオプロセッシングのための全く新しい内部設計を行っています。このパワフルなテクノロジーはFast Wide SCSIの組み込みと、独立した40ビット浮動小数点DSPプロセッサカードアレイのシステムによるデュアルプロセッサコントロールを採用しており、それぞれに8個のアナログデバイスSHARC DSPチップが実装され、システム内の全ての処理機能に対してリアルタイムでの高速40ビット演算を実現しています。新たに開発されたI/Oボード上のA/D、D/Aコンバーターは96kHz/128倍オーバーサンプリングが可能です。

QDCエンジンのシステムは、キャップのないシームレスなパンチン/アウトを1台のハードディスクドライブ上で48トラック/48kHz/24ビットにて同時処理することができます。QDCテクノロジーは48トラック全てで無限のリアルタイム同時クロスフェードも可能としており、クロスフェードパラメータを設定して実行することにより、待ち時間やキャッシュの遅れもなく即座に再生が行われます。QDCのユーザーフォームディスプレイは、常に48トラック全ての再生に完全にシンクしながら表示させることができます。QDCテクノロジーは、48トラックを同時に処理していても、他の製品の8トラック処理能力よりもエディットパフォーマンスは高いと言えるでしょう。全てのQDCベースのシステムは16、20、24ビットを混在してレコーディングを行うことができ、一つのプロジェクト内で自由にビットミックスすることができます。これらにプロジェクト、ライブラリ、クリップのビットの互換性の問題を気にすることなく、必要なレゾリューションを選択することができます。さらにはこのパフォーマンスは、サンプリングレートを選択して作業を始めるだけで無理なく96kHzでのオーバーレインに拡張することも可能です。

DREAM

# Satellite

## High Performance Workstation

DREAM Satelliteはフェアライトの新しいデジタルオーディオワークステーション・コントローラーで、スピードとコストパフォーマンスの両面で他のシステムを凌ぐものとなっています。また合理化された設計により、以前は難しかったオーディオレコーディングや編集等の処理を簡素化しています。直感的な操作性とフェアライトのMXFの使い易さをさらに進化させ、世界最速で信頼性の高いデジタルエンジンであるQDCテクノロジーのパワーとパフォーマンスをコントロールするために、ピナクルエディットと称する新たなコントロール方式を採用、24ビット/96kHzデジタルオーディオクオリティを持つ48トラックをコントロール可能にしています。スタジオの既存のアナログまたはデジタルミキサーとシステムアップして使うように設計されており、16、32、48トラック仕様でデジタルやアナログの入出力を選択することができるようになっています。またMXF3.48やMXF3plusのプロジェクトのフォーマットとの互換性も持っています。Satelliteは完全独立したシステムで、フル装備のエディティングワークステーションですが、トラックエディティング、オートコンフォーム、ADRなどで仕上げたプロジェクトを、DREAM StationまたはDREAM Consoleに転送して完成させることも可能です。

フェアライトの新しいエディティングモデルであるピナクルが組み込まれているということは、Satelliteのオペレーターはワークステーションで、フル装備のエディティングワークステーションで、その分クリエイティブな作業に時間を費やすことが可能になります。また、64段階のスピード変換性のあるUNDO/REDOによって、エディターに類のない自由さと選択の柔軟性を提供できます。

## Intuitive Operation

Satelliteのグラフィクスディスプレイは、オーディオプロジェクトを作成するために必要な全ての情報を提供します。さらに重要な事は、欲しい時にみそれらの情報を表示し、表示を損なうことなく安定的に、かつ見やすく表示します。プロのエディターによって考慮された、フェアライトの高解像度でスムーズにスクロールするウェーブフォームは、全てのトランスポートモードで表示され、プロジェクト内のオーディオを詳細に一覧することができます。エディットポイントを探したり、異なるソースからオーディオを合わせることがごく簡単なこととなりました。Satelliteのズーム機能は、8時間から200ms(6フレーム)までのタイムスケールへの瞬時の拡大や縮小が可能です。またトランスポートコントロールはオーディオエンジニアが馴染みやすい、従来のテープレコーダーのデザインに似たものになっています。

Satelliteは真のランダムアクセスオペレーションを提供しており、プロジェクトの任意のポイントからの再生を即座に行うことや、ノンステラックティブレコーディング/エディティングの機能を持ち、操作を失敗しても前のテイクを回復することができるため、安心して作業が行えます。また、オーディオはいつでも48トラック全部に対してシームレスにパンチイン/アウトすることができます。

パワフルなバンド・パラメトリックイコライザーはプロジェクト内の各クリップに対して用意されており、インタラクティブスクリーンを使って設定することができます。EQ設定はA/Bオーディションが可能です。クリップ間で時間幅を選択してコピーすることができます。またクロスフェードとフェードは様々なユーザーの設定でいつでもクリップに実行することが可能で、全てのクリップは個別にリアルタイムでレベル調整することもできます。これら全てのDSPファンクションはリアルタイムでレンダリングを必要とせずに行われます。

フェアライトのTimefx(tm)ソフトウェアが標準装備され、タイムコンプレッション/エクスパンション、バリスピード、バリピッチ機能を利用することができます。SatelliteはAkai、WaveFrameメディアとのインポート、エクスポートによるデータのエクステンションができ、LightworksとOMFファイルの読み込みも可能です。さらに他のデジタルオーディオシステムに簡単に転送するために、BWFフォーマットのモノ/ステレオオーディオのインポート、エクスポートも可能です。

## MediaLink Networking Ready

フェアライトのMediaLinkオーディオネットワークサーバーシステムはLANやWAN、インターネットへの簡単なアクセスにより、ワークステーションの可能性を世界全体に開いています。MediaLinkは80トラック以上のリアルタイム再生を100BaseT接続によってサーバーからダイレクトに行うことが可能で、さらに進んで拡張したネットワーク接続のためのファイバーチャンネルとギガビットバックワウンアーキテクチャも備えています。

Satelliteはスピードで最も直感的なSFXライブラリーデータベースシステムであるAudioBase(スタンドアローン型)とAudioBase2(ネットワーク型)を標準で利用することもできるようになっています。SatelliteがMediaLinkネットワークの一部として操作されている場合、AudioBase2によって非常に大きなサーバーベースのSFXライブラリーへのリアルタイムアクセスが可能です。完全デジタル化されたシステムにより、既存のCDライブラリー等からサーバーストレージへとシステムを移行させることができます。

フェアライトのServerSound製品はさらにAudioBase2データベースにアクセスし、インターネット上のPCやMac、LAN/WANにアクセスを広げ、スポットやSFXリストの制作を遠隔地で行い、後で完全オーディオプロジェクトに統合させるといったことが可能となります。



DREAM

# Station



## Fully Integrated System

DREAM Stationはシステム化されたデジタルオーディオレコーディング/エディティング/オートメーションミキシングシステムで、7.1までの様々なフォーマットで最終ミックスを仕上げることができます。フェアライトのQDCエンジンを使用して、驚異のスピードと素晴らしいオーディオクオリティを実現しています。

## Expanded Functionality

Stationは48トラックのSatelliteの機能を全て持っており、それらの機能に新たにフルオートメーションの56/16ミキシングシステムをプラスして構成されています。

Stationの各チャンネルは6バンドEQと2ステージダイナミクスセクションを装備しており、また各バスはバスダイナミクスと4バンドEQを装備しています。全ての処理は40ビット浮動小数点DSP処理され、究極のオーディオクオリティを提供します。

Stationのチャンネルダイナミクスには独自の'DynLink'ファンクション等のフルのサイドチェーン機能が備わり、他の独立した信号経路または信号のグループからコントロール信号となる1つの信号、あるいは信号のグループから引出すことができます。

チャンネルイコライザーセクションは4つのフルパラメトリックバンドで、それぞれが10Hzから22kHzのレンジで同時に操作することができ、加えて2バンドのシェルビング/フィルターはシェルフ、6、12、18、24dB/オクターブフィルターの切り替えが可能です。

Stationのバス構成はメインミックスバス、4サブバスで、それぞれを7.1まで広げることができます。4つのAUXが装備されており、全てのバスに4バンドEQ(チャンネルEQタイプからいづれかを選択可能)とバス対応ダイナミクスプロセッシングが備わっています。系統別のミキシングやバス対バスで個々のプリフェーダーバスダイレクト出力を行うことが可能です。

## Multi-Format Friendly

Stationはマルチフォーマットでの作業に対応しており、Diverge、Spread、Rotateのような進んだパンニングに適応し、非常に効果的なサラウンドミックスのコントロールが可能となっています。洗練されたグルーピング機能によってリンクされたマルチフォーマットのオーディオソースとバスグループ、フェーダーグループの作成が可能です。どのグループの構成要素も、個々にトリムを行ったり、マスターによってあらゆる点でコントロールすることができます。

またStationはマルチスピーカーセット選択とモニターの互換のために統合されたモニターミキサーを装備し、幅広いモニターシステムに対応しています。統合されたトークバックシステムにはマルチディスプレイネットワークバックルーティングとオシレーターを持ったオートマックスレート機能を備えています。さらにサードパーティのプラグインエフェクトソフトウェアなどのシステムアップが可能で、あらゆる点で完全にオートメーション化されています。

Stationのコントロールサーフェイスはカスタム設計されたタッチセンシティブーピングノブとフェーダー、操作を明確に確認することができるマルチカラーLEDを持った高性能のスイッチが装備されています。Station Sidecarは、8フェーダー単位で16フェーダーまでのコントロールサーフェイスの拡張と、外部メーターオプションを取り付けて画面上のメーターをさらに緻密に表示することが可能になります。長尺番組の制作から短編の制作、コマーシャル、ラジオなどあらゆるスタジオのニーズに対応し、複数の部屋を持つプロダクションでは、DREAM Consoleと組合せて能力を発揮します。Stationのオーディオプロジェクトとオートメーションデータは、DREAM Consoleと完全な互換性があります。またオーディオプロジェクトをDREAM Satelliteに転送することもできます。

# DREAM Console

## Fully Featured System

DREAM Consoleはフルシステムのデジタルオーディオミキシングコンソールで、ハイエンドオートメーション／プロセッシングを備え、専用の大型デジタルオーディオミキシングコンソールと同じレベルの操作性と機能性を持ち合わせています。DREAM Consoleはフェアライトの誇るQDCテクノロジーをベースにしており、Stationの全機能を持ち、機能性やユーザー適応性も高められています。

192チャンネルまで装備することが可能で、48ミックスバスへのリターン、6バンドEQ、フィルタリング、2ステージダイナミクスプロセッシングを96の入力上で実現し、さらに2バンドEQ、対応したフルチャンネルとの間でEQとダイナミクスを共有できる48ショートフェューダーバスを備えることができます。このチャンネル構成はマルチフォーマットバスシステムに送ることができ、マルチサラウンドフォーマットの同時生成とマルチ系統のミキシング作業のためのバスからバスへのミキシングが可能です。独自のグルーピング／パンニングシステムは、スムーズで簡単なミックスマトリックスの操作で驚くほどの効果があり、最も複雑なサラウンドサウンドミックスが簡単にできてしまうことを実感していただけます。フェアライトのDREAMシステムの製品の一員として、DREAM Consoleは複雑なポストプロダクションのプロジェクターリングとプロセッシングハブとしての役割を果たし、時間とコストを節約し創造性をさらに増大させ、収益性をアップさせます。

DREAM Consoleは、現在世界規模で使われているシネマ再生フォーマットに対して7.1チャンネルまで対応します。モニタリングバスシステムはプログラム可能なフォルドダウン／フォルドアップモードで完全にセットアップすることができ、複数のスピーカーセット、オーディオソース、フォーマットに即座に切り替え可能となっています。

## Extensive Facilities

DREAM Consoleは4枚のQDCチャンネルカードに対応したコントロールサウスイースとオーディオワークステーションシステムで構成されています。フェューダー数、セントラルアライメントパネル、メーターブリッジの仕様に応じたフレームサイズで組み立てることができます。システムの構成はフェューダーアライメント、パネルオリエンテーション、バスコンフィギュレーション、ダイナミクス、パン、AUX、その他ミキシング操作に必要なオプションを組み込むことができます。DREAM Consoleの独自設計であるセントラルエリアは、ローカルでもチャンネルからでも、グローバルにチャンネルコントロールとセットアップにアクセスすることができます。DREAM Consoleの拡張コントロールサウスイースには、独自開発のタッチセンシティブムビング・ロータリーノブとフェューダーを装備し、オートメーションシステムを含む全てのファンクションヘリアルタイムのアクセスと簡単な操作性を実現しています。

DREAM Consoleの広範囲にわたるオートメーションシステムは、プロセッシングやルーティング、サードパーティのプラグインなど、あらゆるオンボードファンクションのパラメータをも記憶可能です。GPOを装備したマクロプログラミングシステムは、キー操作をカスタマイズして、コンソールを迅速、かつ簡単に、ワークフローや必要なコンフィギュレーションにアサインさせることができます。DREAM Consoleはパワフルなミキシングシステムであるということだけでなく、完璧なレコーディングとエディティングシステムです。



## KEY FEATURES

DREAM Satellite	フルファンクション・デジタル・オーディオ・ワークステーション 16、32、48トラック ビルトイン・マシンコントロール 最高48までのアナログ/デジタルI/O MediaLink Networking対応 Binnacle(tm)パワー 既存のFairlight QDCシステムとの互換性
DREAM Station	48トラック 56チャンネルのミキシング・エンジン 4 AUX (モジュラーまたはステレオ) 4サブバス (7.1まで) バスからバスへのミキシング マルチフォーマットのメインバス (7.1まで) 全てのバスにダイナミクスとEQ 全チャンネルへのリアルタイム6バンドEQ 全チャンネルへのリアルタイムの2ステージ・ダイナミクス チャンネルとバスへのインサーション トータル・ダイナミクス・オートメーション ムービング・タッチセンシティブ・ロータリーノブとフェーダー サラウンド・パンニング・システム サイドカー・フェーダーの拡張レイアウト サードパーティのプラグインオプション
DREAM Console	48トラック 最大192のミックスへの入力 12 AUX (7.1まで) マルチフォーマットのメインバス (7.1まで) 8つのマルチフォーマットサブバス (7.1まで) 最大48のマルチトラックバス サラウンド・パンニング・システム 全チャンネルへのリアルタイム6バンドEQ 全チャンネルへのリアルタイムの2ステージ・ダイナミクス トータル・ダイナミクス・オートメーション ムービング・タッチセンシティブ・ロータリーノブとフェーダー バスからバスへのミキシング リダクションレベルのコントロール可能なバスリダクション・ミキシング 最大84フェーダー モジュラー式でカスタマイズ可能なコントロール・サーフェイス サードパーティのプラグインオプション

## SYSTEM SPECIFICATIONS

Analog Inputs & Outputs	入力インピーダンス 出力インピーダンス 最大入力レベル 最大出力レベル 標準オペレートレベル 対ノイズ入力信号 対ノイズ出力信号 対ノイズシステム信号 システムTHD 帯域幅 (.25dB)	> 10kΩ < 55Ω +24dBu +24dBu +14dBuから+24dBuまでの間で調節可能 > 113dB A-weighted (A/D conversion) > 113dB A-weighted (D/A conversion) > 110dB A-weighted < 0.0008% 20kHz~20kHz
AES/EBU Inputs	最小差異 入力インピーダンス 入力周波数 チャンネルステータス	200mV 110Ω トランスフォーマーアイソレート 30kHz~50kHz QDC Technologyシステムはチャンネルステータスには無反応です
AES/EBU Outputs	出力レベル 出力インピーダンス 出力周波数	4V 110Ω トランスフォーマーアイソレート 30Hz-5% 50kHz+5% (シンクソースにロックされる) チャンネルステータス プロフェッショナル、ノーマルオーディオ、ソースロック、プロジェクトサンプルレートにセットされたサンプル周波数、ステレオ、24ビットワード長
System Sample Rates	32, 44.056, 44.1, 48 and 96kHz (ユーザーによる選択が可能)	
Run-up/Run-down Sample Rates	44.044, 44.056, 47.952, 48.048, 95.904, 96.096kHz	
SRC Range (SRC I/Oモジュールオプション搭載で)	Input Output	システムサンプルレートの0.33~3.0倍 (レンジ範囲8kHz~108kHz) 現行のシステムサンプルレートを他のシステムサンプルレートに変換可能
Clock References	内部、AESリファレンス、WCLK、任意のデジタル入力、ビデオリファレンス、LT C入力	

クロックはシステムサンプルレートの0.5倍または2倍のどちらかで動いている外部WCLKまたはAESシンクから引出すことができます。ですから、システムは例えば96kHzで48kHzリファレンスにロックして動かしたり、48kHzで96kHzリファレンスにロックして動かしたりすることができます。

SRC O/Pサンプリングクロックは独立してデジタル入力以外の任意のリファレンスにロックすることができます。O/Pサンプルレートがシステムサンプルレートの2.0倍または0.5倍になっている場合、出力レートは自動的にシステムレートにサンプリングロックされます。

